



Being Consulting

CCPM コンサルティング サービス紹介

-プロジェクトマネジメントのその先へ-

目次

- 1** 会社概要
- 2** コンサルティングサービス
- 3** コンサルティング実績

会社概要

会社名 株式会社ビーイングコンサルティング
(Being Consulting Co., Ltd.)



代表者 代表取締役会長 CEO 津田能成
取締役社長 COO 後藤智博

設立 2019年1月
※ 2005年より事業を開始し2019年株式会社ビーイングより分社化

事業 制約理論に基づく生産性向上コンサルティングサービスの提供

本社 〒160-0023
東京都新宿区西新宿一丁目3番17号
新宿第1アオイビル7F
TEL : (03)6304-5505 FAX : (03)6304-5507

HP <https://toc-consulting.jp/>

私たちのミッション

私たちビーイングコンサルティングは、
マネジメントのイノベーションパートナーです。
全体最適の視点から、お客様のさらなる可能性を
迅速に引き出すことで、お客様の永続的な繁栄、
そして、持続可能な社会の実現に貢献し続けます。

ビーイングコンサルティングの強み

1. 成果創出へのKPI設定と計測、及び、コミットメント
2. お客様の環境に最適なマネジメント環境の構築
3. 教育に留まらない実践的コンサルティング

+

4. 実践用ソフトウェア（開発元：ビーイング）



2022年1月27日
プレジデント社刊
『Project Management 進化論
クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント』



コンサルティングサービス

■ ソリューションのポイント

目的

プロジェクトの納期遵守率向上
リードタイム短縮
共通のプロジェクト管理基盤の実現

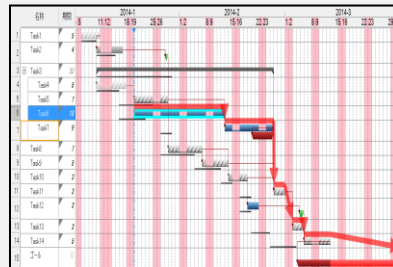
組織の生産性向上

マネジメント対象

1

プロジェクトや組織の制約を特定する

クリティカルチェーンの特定

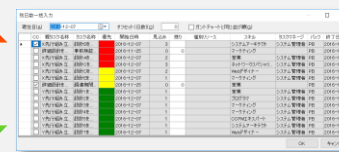


2

“今やらなくてもいいこと”をやらない

プロジェクト内タスク優先度

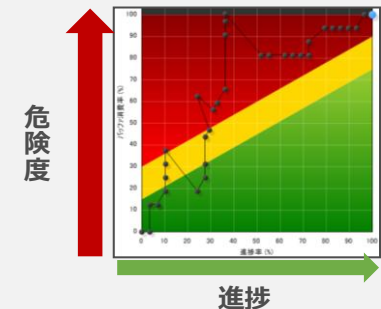
高
優先度
低



3

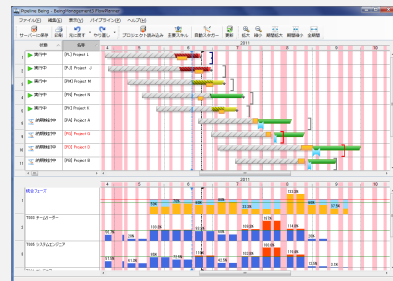
プロジェクトを可視化して
“停滞時間”を減らす

プロジェクトの状況把握



プロジェクト単体
(シングルプロジェクト環境)

組織内の制約を管理



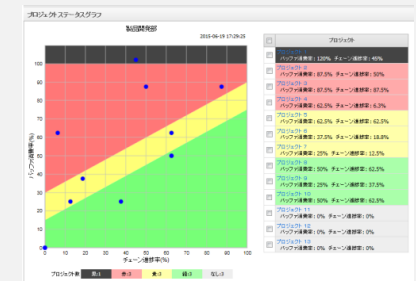
組織全体
(マルチプロジェクト環境)

組織内プロジェクトの優先度

高
優先度
低



組織内プロジェクト状況把握



■ CCPMの適用例

- ・多くのチームと連携する新製品開発プロジェクト
- ・システム開発などのIT関連プロジェクト
- ・不確実性の高い研究開発や要素開発プロジェクト

■ CCPM導入のメリット

- ・プロジェクトの期間短縮/納期遵守率向上
- ・創出したキャパシティによる競合優位性獲得
- ・組織全体の生産性の向上

■ CCPM導入後の声



経営 マネジメント層

- 創出されたキャパシティを活用して、将来の売上獲得に向けた技術開発や要素研究の時間を十分に確保できるようになった
- 安心してマネージャー/リーダーに任せられるようになった
- 組織としてどこに手を打てば良いか明確になった



設計・開発部門

- 開発リードタイムを大幅に短縮できた（納期遵守率が上がった）
- “いま何をすべきなのか”が明確になり、集中できるようになった
- 大きな手戻りが減少したため、必然的に品質も上がった
- 部門を超えたコミュニケーションが取りやすくなった
- 営業部門、製造部門との連動性が高まった



製造部門

- 設計・開発部門のスケジュール遅れのシワ寄せが無くなり、製造計画が守りやすくなった
- 情報共有が進み、製造段階でドタバタすることが減少した

シャープ株式会社様 事例

- サービス内容：電気機器製造販売
- 従業員数：41,898名人（2017年時点 ※グループ連結）

SHARP

シャープ株式会社
通信事業本部 パーソナル通信事業部 様

**AQUOSスマートフォン事業
TOC導入事例**

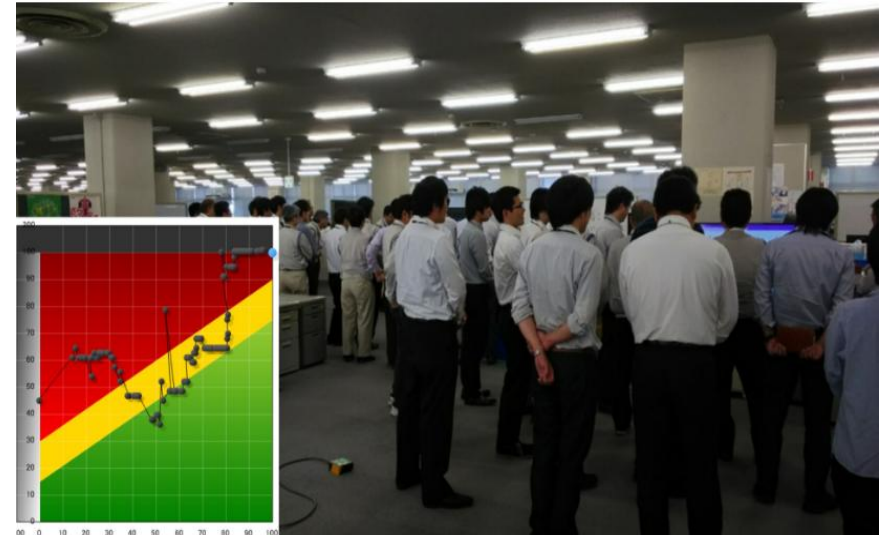


**わずか6ヶ月間で
開発リードタイム30%短縮。**

<https://toc-consulting.jp/case/case-sharp/>

導入前の課題

- 長引く低迷と出口が見えない企業変革に悩んでおり、あらゆる構造改革策を実行するも、売上高や利益の減少は続いていた
- プロジェクトをこなすことに精一杯で、将来に向けた活動には時間を割くことができず、社員は疲弊していた



導入後の効果

- 事業部全体で組織マネジメントのイノベーションが進み、プロジェクトのリードタイムの短縮と前倒し開発へのシフトによる品質の大幅な向上を実現した
- コンセプトワークの開始タイミングが平均2ヶ月前倒しすることができた

マツダ株式会社様 事例

- サービス内容：自動車製造
- 従業員数：40,892人（2014年時点 ※グループ連結）



「SKYACTIV TECHNOLOGY」 のポートレイン開発 開発期間50%短縮を実現

<https://toc-consulting.jp/case/mazda/#03>

導入前の課題

- 年々増加する車種や激しさを増す技術の高度化と複雑化に対応することで精一杯であった
- 組織の縦割りによって、部門間の連携やコミュニケーションが大幅に不足してしまい、開発プロジェクトの進捗状況は見えない状態だった



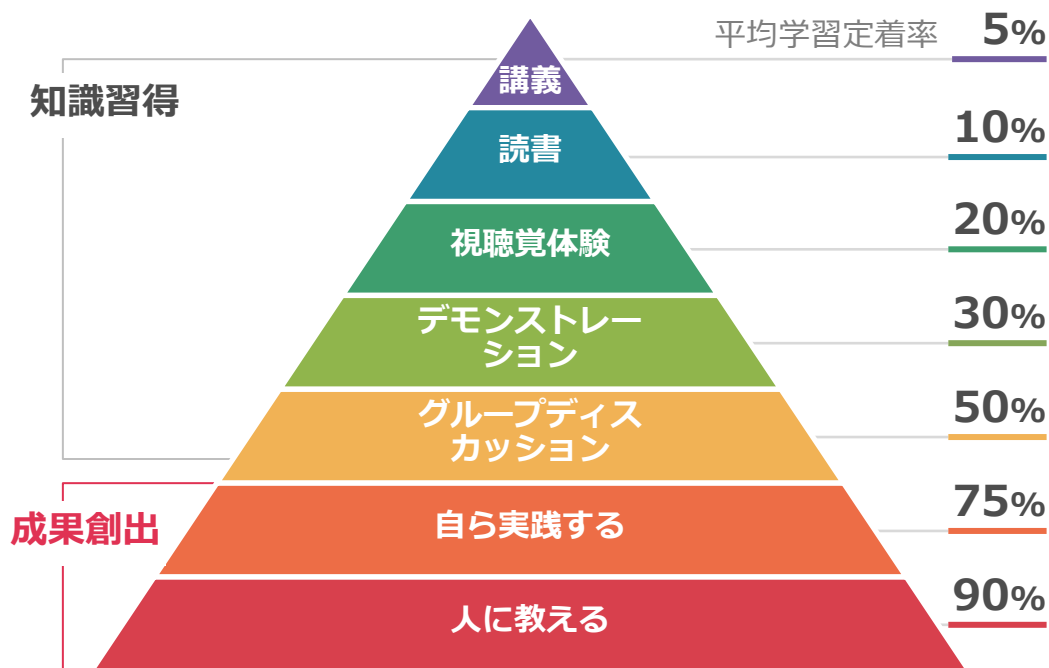
導入後の効果

- 全てのプロジェクトが時間通り、またはそれよりも早く市場に届けられるようになる
- プロジェクト全体の進捗と危険度を可視化し、最適な組織的判断が実現し、開発能力と生産性が大幅に向上する

サービスラインナップ

CCPM（クリティカルチェーン プロジェクトマネジメント）をベースとしたプロジェクトマネジメント手法を組織に定着させるための各種サービスをご用意しております。

ラーニングピラミッド



CCPMベーシックコース

全4回の動画視聴とフォローアップ研修を実施します。
TOCやCCPMの基礎を習得できます。

工程表作成支援サービス

お客様のプロジェクトに最適なプロジェクト計画の提案と作成方法のレクチャーを実施します

PMO支援サービス

CCPMに精通したコンサルタントがプロジェクトの進捗管理をサポートします。

コンサルティングサービス

CCPMの組織展開に向けた最適なプラン策定から仕組み構築、定着に向けたコンサルティングを実施します。

コンサルティングサービス

■ コンサルティングサービスの特徴

特徴

CCPMをベースとしたプロジェクトマネジメント基盤を
組織へ定着させるコンサルティングサービス



成果

プロジェクトの納期遵守率向上
リードタイム短縮
プロジェクトマネジメント基盤の標準化

組織の生産性向上

※CCPM＝クリティカルチェーンプロジェクトマネジメント

コンサルティングサービス

■ なぜ生産性が向上するのか？

目的

プロジェクトの納期遵守率向上
リードタイム短縮
共通のプロジェクト管理基盤の実現

組織の生産性向上

組織やプロジェクトの制約に着目することで
マネジメントのあり方に変化が起きる

1. プロジェクトや組織の制約を特定する

“全体最適”の視点を持って、プロジェクト全体、組織全体のパフォーマンスを決定づける“制約”を特定します。

2. “今やらなくてもいいこと”をやらない

“今やるべきこと”を優先度に従って実行するだけでなく、
“今やるべきではないこと”を実行しないマネジメントへ変えていきます。

3. プロジェクトを可視化して“停滞時間”を減らす

“今やるべきではないこと”を実行することによって生まれていた
“停滞時間”を減らすことで生産性を向上させます。

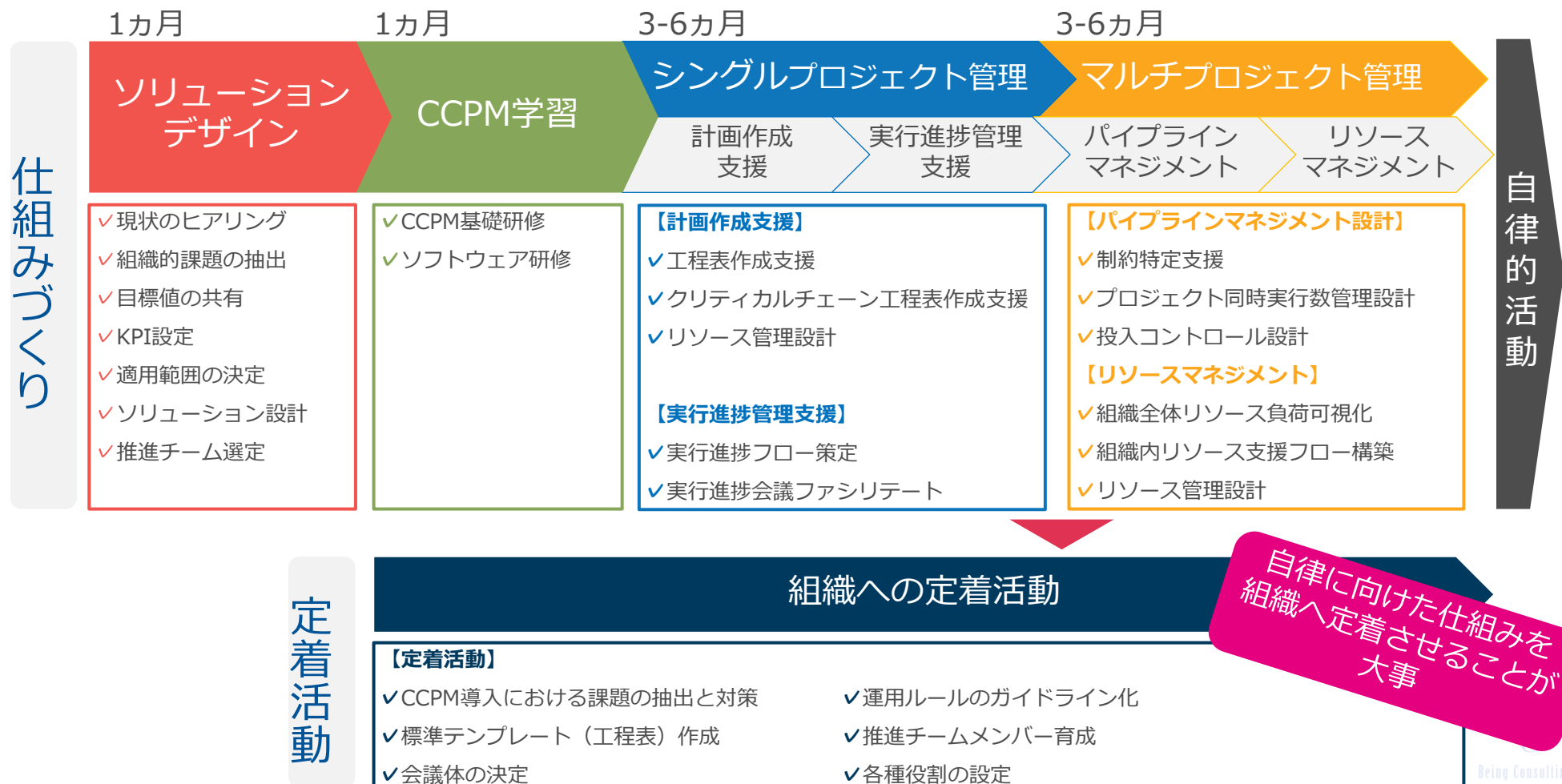
ビーイングコンサルティングの強み

1. 成果創出へのKPI設定と計測、及び、コミットメント
2. お客様の環境に最適なマネジメント環境の構築
3. 教育に留まらない実践的コンサルティング

コンサルティングサービス

■ どのようにCCPMを定着させるのか？

コンサルティング ロードマップ例



コンサルティングサービス

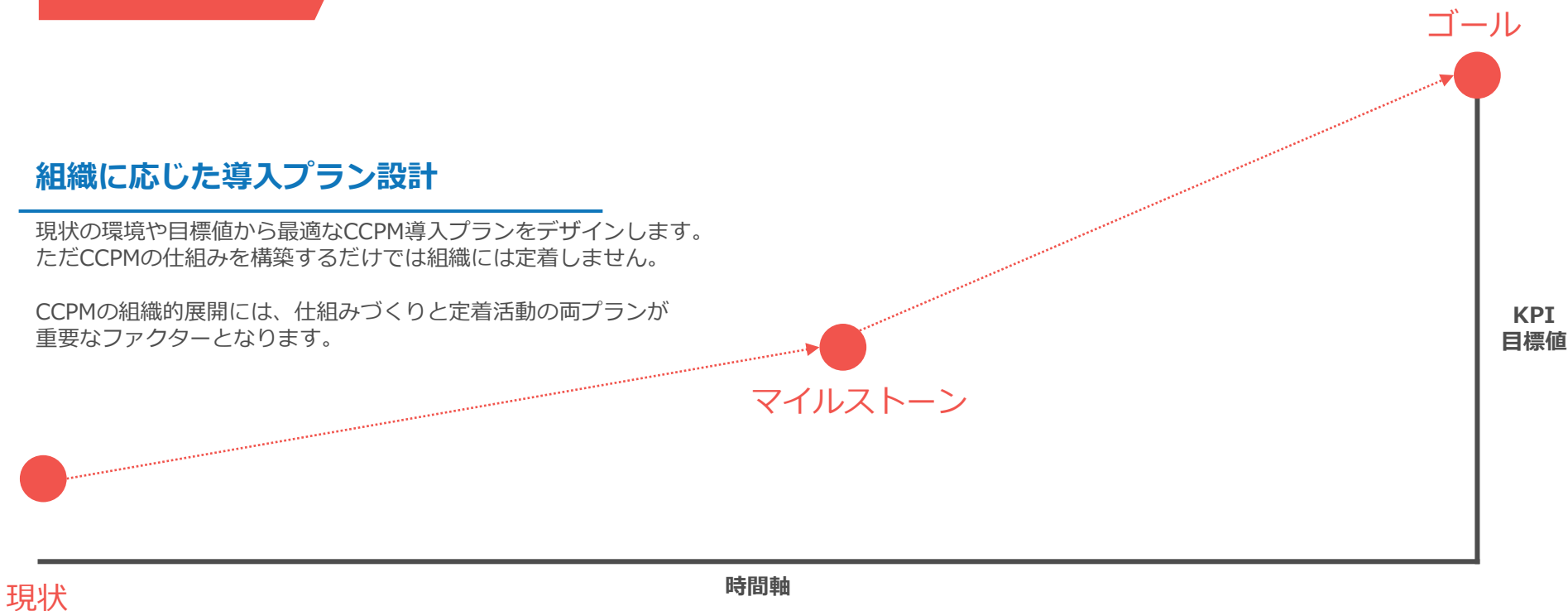
ソリューション
デザイン

現状のプロジェクト環境や目標値によって
お客様の環境に応じた導入方式をデザインします。

組織に応じた導入プラン設計

現状の環境や目標値から最適なCCPM導入プランをデザインします。
ただCCPMの仕組みを構築するだけでは組織には定着しません。

CCPMの組織的展開には、仕組みづくりと定着活動の両プランが
重要なファクターとなります。

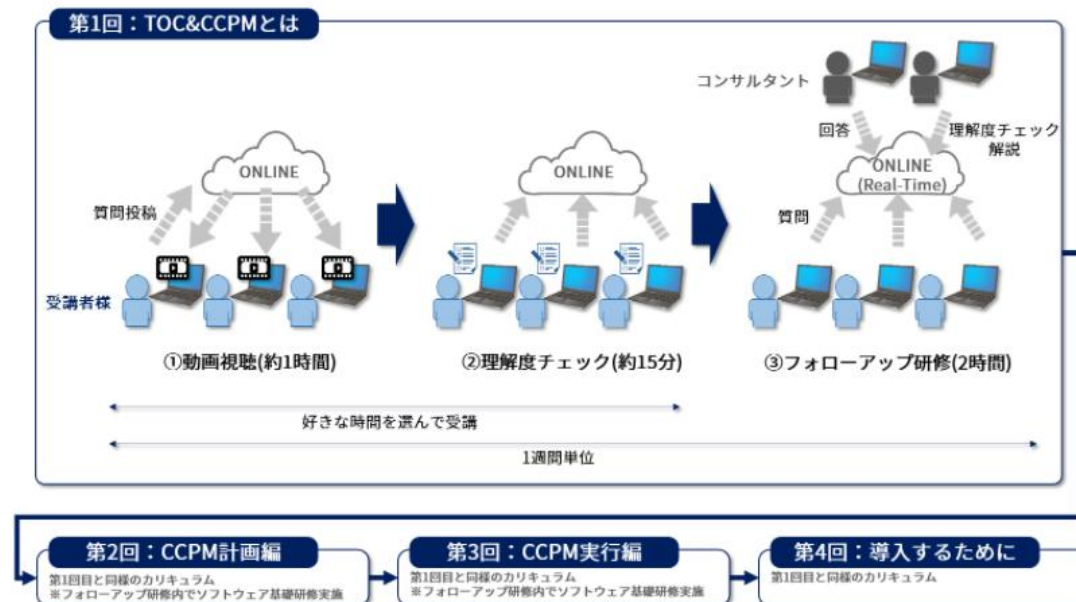


CCPM学習

CCPMを実践するために必要な知識を習得できる
プログラムをご提供します。

CCPMベーシックコース（オンライン）

【研修実施サイクル】



【研修内容（全4回）】

- 第1回：TOC&CCPMとは
- 第2回：CCPM計画編
- 第3回：CCPM実行管理編
- 第4回：導入するために

【研修受講方法】

各回以下のプログラムを用意しています。

- ①事前動画視聴（約1時間）
- ②理解度チェック回答（約15分）
- ③フォローアップ研修（約2時間）

※オンライン環境を想定

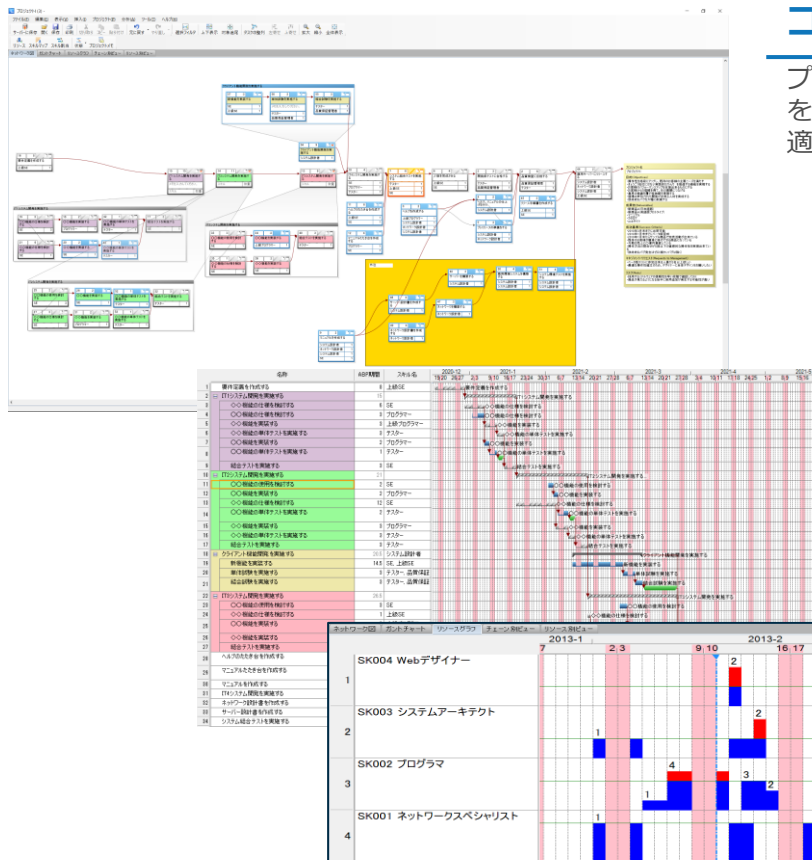
コンサルティングサービス

シングルプロジェクト管理

計画作成
支援

実行進捗管理
支援

全体最適な工程表作成と クリティカルチェーンの特定を支援します。



ゴールの設定と共有

プロジェクトの目的(Objectives)成果物(Deliverables)成功基準(Success Criteria)を設定し、関係者内で共通の認識をつくります。
適切な表現方法と作成のポイントをお伝えします。

工程表作成支援

適切なタスク粒度での工程表作成や依存関係の設定を支援します。



ネットワーク図作成の様子
(オリンパス株式会社様 事例より)



アナログ手法で作成したネットワーク図
(オリンパス株式会社様 事例より)

クリティカルチェーン工程表作成支援

組織に適したクリティカルチェーン工程表の作成方法を設計します。
また、クリティカルチェーンの短縮、調整方法をご提案します。

リソース設計

組織に適したリソース管理方法をご提案します。
リソース負荷を考慮した工程表の作成を支援します。

コンサルティングサービス

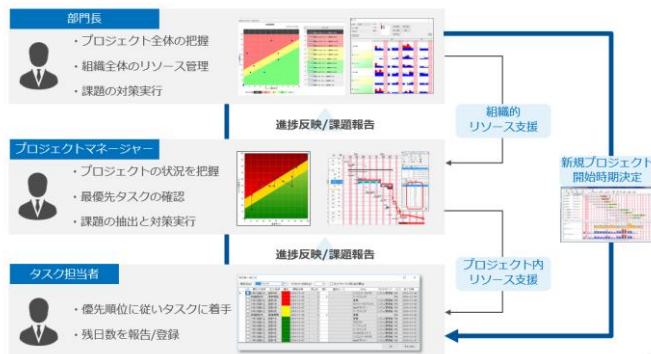
シングルプロジェクト管理

計画作成
支援

実行進捗管理
支援

実行進捗管理フローを策定します。

実行進捗会議の定着に向けた支援を実施します。



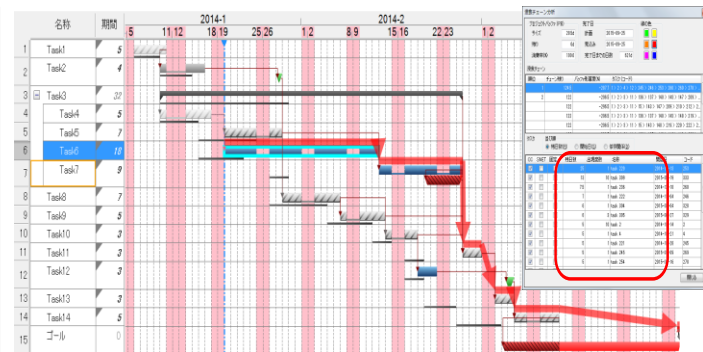
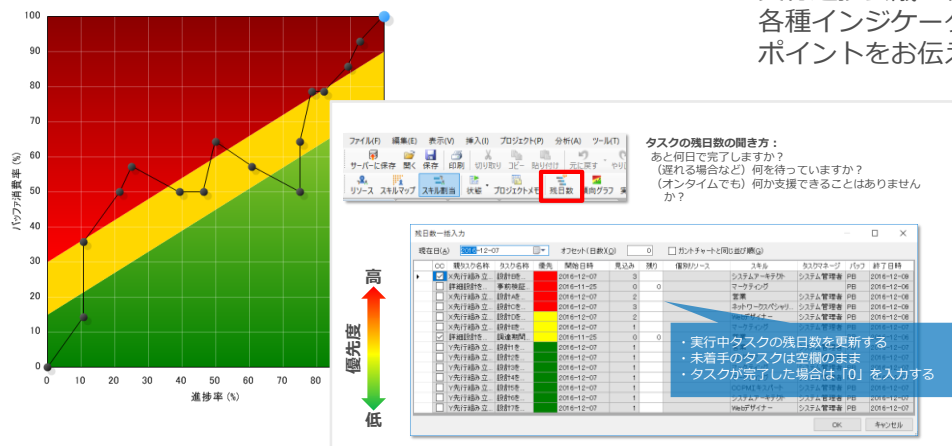
実行進捗フローの策定

組織に合わせた実行進捗会議をデザインします。
(適切な開催頻度、メンバー、進捗報告方法、課題管理方法)

タイムリーに組織的情報を共有する仕組みを構築し、マネジメント判断を早期化します。

実行進捗会議ファシリテーション

実行進捗会議が組織に定着するまでコンサルタントが同席し支援します。
各種インジケータの動きによって、どのようにマネジメントすべきか
ポイントをお伝えします。



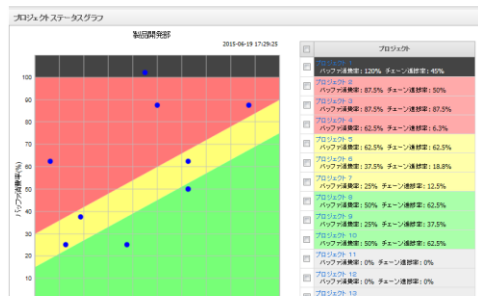
コンサルティングサービス

シングルプロジェクト管理

計画作成
支援

実行進捗管理
支援

優先度をつけたタスクマネジメントの
仕組みを構築します。



プロジェクト優先度の可視化

組織内のプロジェクトの状況を同一軸で管理することで、プロジェクトの優先度を明確にします。

優先度に応じて、「今やるべきこと」と「今やらなくてもいいこと」を見極めます。

タスクボード					
TBA	ToDo	Doing	Pending	Done	
担当A					
担当B					
担当C					

タスク優先度づけを行う仕組みの構築

組織内のタスク優先度づけを行うための仕組みを構築します。

プロジェクト作業を優先させるべきか、それともその他の作業を優先させるべきか、判断基準やマネジメントフローを整備致します。

プロジェクトA

プロジェクトB

プロジェクトC

保守作業

事務作業

高

優先度

優先度づけ

コンサルティングサービス

マルチプロジェクト管理

パイプライン
マネジメント

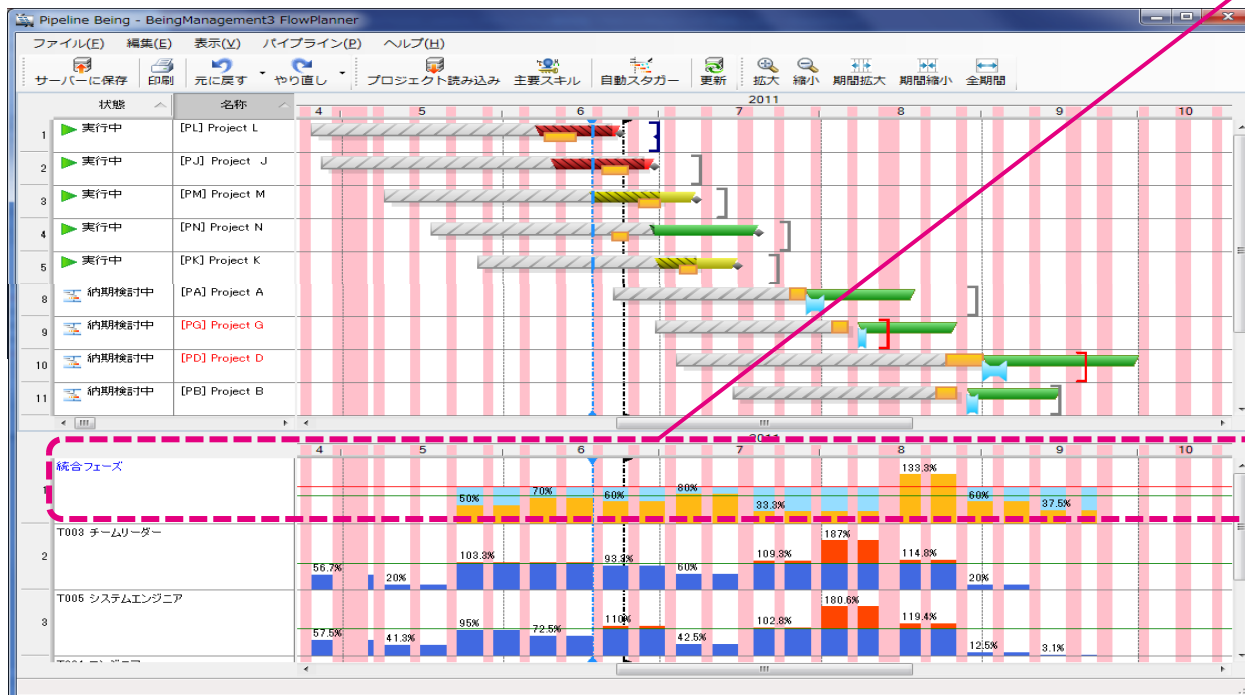
リソース
マネジメント

組織の制約を特定し
戦略的にプロジェクトの開始時期を決定します。

組織の制約特定支援と投入コントロールの設計

希少リソースやマネジメントが集中する箇所などの
組織の制約を特定しプロジェクト同時実行数を管理します。

制約（希少リソース、設備 等）



各プロジェクトの
投入タイミングと
同時実行数を管理

制約と組織全体の
リソース負荷状況
を管理

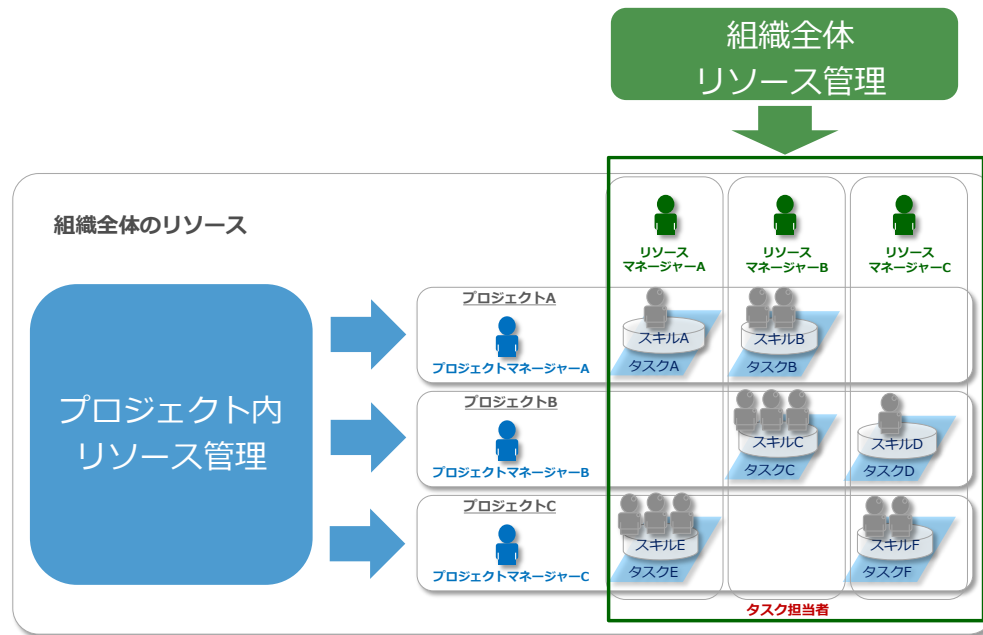
コンサルティングサービス

マルチプロジェクト管理

パイプライン
マネジメント

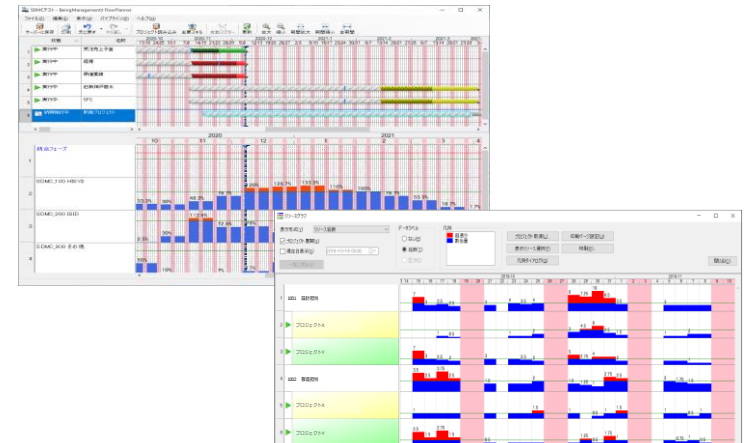
リソース
マネジメント

組織に応じたリソース管理方法を設計し、
リソースの集中を実現します。



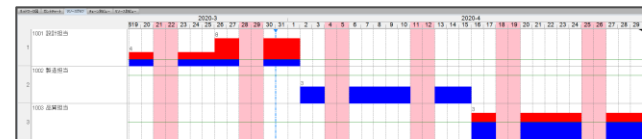
組織全体のリソース管理設計

プロジェクトを横断したリソース負荷が可視化できます。
組織全体のリソース負荷を管理することでプロジェクト間で
リソース支援ができる仕組みが構築できます。



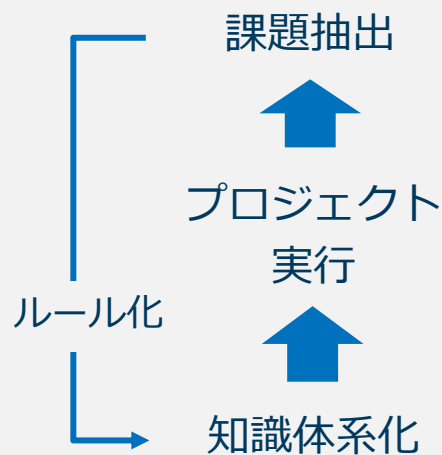
プロジェクト内リソース管理設計

リソースの観点から無理のないプロジェクト計画が策定できます。
また実行管理時にはリソース負荷を管理することでプロジェクト内で
リソース支援ができる仕組みが構築できます。



組織への 定着活動

CCPMが組織に定着するための体制構築 および、知識の体系化を支援します。



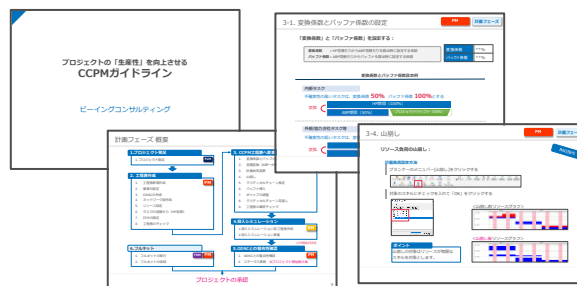
推進チーム体制の構築

組織でCCPMを継続的に推進させるための推進チーム体制を構築します。
推進チームメンバーの育成を支援します。

組織的な課題抽出と対策の実施（組織へのフィッティング）

CCPM導入時の課題を抽出し対策を講じていきます。

適宜、課題や問題点を抽出し、組織に適したマネジメントや運用を構築することが重要となります。



運用ガイドラインの作成支援

CCPM運用ルールやフロー、ソフトウェアの操作方法等取り纏めたガイドラインを作成します。

実際のプロジェクトで発生した課題に応じて、その対策方法を記していくことで、組織独自のガイドラインが作成されます。

コンサルティング実績

これまで**200**社におよぶプロジェクト変革を支援し
生産性の向上を実現してきました。



TOTO

OMRON

SHARP
Be Original.

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

ALPINE
Driving Mobile Media Innovation

KONAMI

OLYMPUS

BOSCH

EPSON

RICOH
imagine. change.



Kubota



➡ 詳細は弊社ホームページへ

コンサルティング実績



パワートレイン開発本部

開発リードタイム短縮

最大 **50%**短縮



設計・構築リードタイム短縮

3ヶ月後 **20%**短縮

5ヶ月後 **40%**短縮



Alpine Information System, Inc.

アルパイン情報システム

初期納期遵守率の向上

導入前29%から

たった1年で **88%**に向上



通信事業本部（スマートフォン開発）

開発リードタイム短縮

たった6ヶ月で **30%**短縮



Being Consulting

お問い合わせ先

株式会社ビーイングコンサルティング

TEL : 03-6304-5505

Mail : info-ccpm@being-consulting.co.jp

URL : <http://toc-consulting.jp/>

〒160-0023

東京都新宿区西新宿一丁目3番17号

新宿第1アオイビル7F